



平成30年 6 月 28 日

各 位

会社名 株式会社 銚子丸
代表者名 代表取締役社長 石田 満
(J A S D A Q ・ コード 3 0 7 5)
問合せ先 執行役員 管理部長 仁科 善生
電 話 0 4 3 - 3 5 0 - 1 2 6 6

平成30年 5 月期 通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成29年12月14日付にて公表した平成30年 5 月期（平成29年 5 月 16 日～平成30年 5 月 15 日）の通期業績予想と本日公表の実績値について差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成30年 5 月期 通期業績予想との差異 （平成29年 5 月 16 日～平成30年 5 月 15 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	18,386	349	376	140	51 円 49 銭
実績値（B）	18,789	580	615	305	112 円 14 銭
増減額（B－A）	402	231	239	165	-
増減率（ % ）	2.2%	66.2%	63.5%	117.8%	-
（ご参考）前期実績 （平成29年 5 月期）	19,540	923	958	457	167 円 70 銭

2. 差異の生じた理由

売上高については、平成 29 年 11 月にビジネス誌掲載の「外食チェーン全格付け」で顧客総合満足率第 1 位を獲得したことや、テレビ番組での紹介等を背景に、これと同時期に開始した「LINE お友達募集」をはじめとした WEB 媒体による販売促進強化等が奏功し、特に下期後半にかけて堅調に推移しました。一方で、店舗勤務者の労務改善を目的とした一部店舗の営業時間短縮や臨時休業日の設定による影響がありましたが、シフトの工夫等による営業体制の再構築によって、営業面での限定的な運用で対応できたことにより、売上高は通期業績予想比+402 百万円となりました。

一方、利益については、売上高が予想を上回ったことによる粗利益の増加に加えて、WEB 媒体の充実による販売促進費の圧縮や水道光熱費の削減（前年同期比△48 百万円）等の経費削減努力が奏功して、営業利益+231 百万円、経常利益+239 百万円と通期業績予想を大きく上回る結果となりました。なお、当期純利益は、業績不振店舗について 150 百万円の減損損失を計上した結果、通期業績予想比+165 百万円となりました。

※詳細につきましては、本日公表の「平成 30 年 5 月期 決算短信」を参照ください。

以 上